

**教科目標**

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

1学期 主な学習内容（13時間）	2学期 主な学習内容（15時間）	3学期 主な学習内容（7時間）
<p>絵や彫刻等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光に気持ちを重ねて描く 「きらめき ゆらめき」(1時間)</li> <li>・「透視図法によるデザイン構成」 (8時間)</li> </ul> <p>デザインや工芸等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化を生かす(1時間) 「笑顔が生まれる環境デザイン」</li> </ul> <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仏像に宿る心」 (2時間)</li> <li>・「美術文化の継承」(1時間)</li> </ul>	<p>絵や彫刻等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン構成(6時間) 「理想の部屋をつくろう」</li> </ul> <p>デザインや工芸等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で一つの装飾をつくる 「自分へ贈る卒業記念品」(8時間) (ものづくり)</li> </ul> <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ルネサンスが目指したもの」 (1時間)</li> <li>・「様々なアートに触れよう」 (1時間)</li> </ul>	<p>絵や彫刻等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「漫画の魅力」(2時間)</li> </ul> <p>デザインや工芸等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で一つの装飾をつくる 「思いを込めた卒業記念品」 (4時間)</li> </ul> <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の世界文化遺産」(1時間)</li> </ul>

**評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）**

	評価の観点（1学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	<p>絵画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「透視図法によるデザイン構成」</li> </ul> <p>形や色彩、材料や用具の特性を生かし、それらがもたらす効果や、構図や空間など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 また、意図に応じて表現方法を追求し、制作の順序を総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</p>	<p>【全教科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> </ul> <p>【各教科の方法・資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技作品</li> <li>・提出物</li> <li>・鑑賞プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストは授業で学んだ用語や技法について問う内容を中心に、定着度を評価する。</li> <li>・美術の専門用語に関する説明を正しく記述できるか問う問題を中心に、理解度を図る</li> </ul> <p>実技作品はA, B○, B, B△, Cで評価する。 A 遠近法の技法を使い、細密かつ正確に描くことができる。 B○遠近法の技法を使い、大体正確に描くことができる。 B 遠近法の技法を使い、描くことができる。 B△遠近法の技法があまり正確ではない。 C 遠近法の技法に誤りがあり、描くことができていない。</p>
II 思考・判断・表現	<p>絵画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「透視図法によるデザイン構成」</li> </ul> <p>表現方法を工夫し、豊かな発想を基に構図の効果を考え、構想を練る。 伝えたいデザインのイメージを、美的感覚を働かせて形や色彩の構想を練り、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>【全教科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> </ul> <p>【各教科の方法・資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技作品</li> <li>・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストは授業で習ったことを活用し、答えを見いだすことができるか。</li> <li>・美術のよさや美しさを文章でまとめて表現できるか。</li> </ul> <p>実技作品はA, B○, B, B△, Cで評価する。 A 豊かな想像力でデザインを構成し、無駄な余白がまったくない。 B○豊かな想像力でデザインを構成し、無駄な余白がほとんどない。 B 豊かな想像力でデザインを構成し、無駄な余白は少ない。 B△想像力がやや足りず、デザインに余白が多い。 C 想像したデザインになっておらず、余白がかなり多い。</p>
III 主体的に学習に取り組む態度	<p>絵画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「透視図法によるデザイン構成」</li> </ul> <p>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなど、自ら進んで学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>【全教科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識及び技能」の観点の評価</li> <li>・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価</li> </ul> <p>【各教科の方法・資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技作品</li> <li>・提出物</li> <li>・授業での様子</li> <li>・自己評価</li> </ul>	<p>【全教科共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。</li> <li>・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。</li> <li>・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。</li> </ul> <p>【各教科 独自の方法】</p> <p>実技作品はA, B○, B, B△, Cで評価する。 A 自ら進んで、毎回造形活動に取り組み工夫と調整をしている。 B○自ら進んで、毎回造形活動に取り組み工夫をしている。 B 自ら進んで、毎回造形活動に取り組んでいる。 B△毎回造形活動に取り組もうとしている。 C 毎回造形活動にあまり取り組んでいない。</p>